

平成 29 年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

第 1 財団運営の基本方針

1 所管業務

平成 29 年度は、松本市から指定管理者の指定を受けて、美術館施設 2 館、文化芸術施設 3 館の管理運営を行います。このうち、美術館附属施設の「梓川アカデミア館」については新たに加わるもので、美術館と併せ平成 29 年度から 5 年間の管理を行います。また、音楽文化ホールについても引き続き当財団が指定を受けることとなり、平成 29 年度から 5 年間の管理を行います。

自主事業に当たっては、各施設の強みを生かした事業を実施し、地元にはゆかりのある出演者による公演、芸術性の高い作品から娯楽性のある作品の公演等、幅広く行うことで文化芸術活動の普及を目指します。

施設区分	施設名	開館時期	指定管理の区分		
美術館	松本市美術館	平成14年 4 月	期間：H29/4/1～ 5 年間		委託料方式
	松本市梓川アカデミア館	平成 3 年 1 月	期間：H29/4/1～ 5 年間		
文化芸術施設	松本市音楽文化ホール	昭和60年10月	期間：H29/4/1～ 5 年間	特命指定 (非公募)	指定管理料方式と利用料金制の併用
	まつもと市民芸術館	平成16年 8 月	期間：H25/4/1～ 5 年間		
	松本市波田文化センター	平成 7 年 4 月	期間：H25/4/1～ 5 年間		

2 財団の組織強化

(1) 公益事業の推進

一般財団法人移行後、法で義務付けられている公益目的支出計画を着実に進め、公益の増進に努めます。なお、計画では平成 29 年度をもって公益目的支出計画の実施が完了となります。

(2) 経営の健全化

ア 会計・税務処理の適正化を図るため、新たに税理士業務を委託し、また、会計システムの更新の検討を進めます。

イ 職員のコンプライアンスに対する意識高揚とコスト意識向上を図るため、各種研修を実施します。

(3) 財団改革

「財団改革の基本方針」（平成 18 年 3 月策定）並びに松本市の「外郭団体等への市の関与のあり方の基本方針」に基づいて、財団の機能強化を図ります。

また、労働関係法の改正に適切に対応するため、社会保険労務士に業務を委託し、制度改革に取り組めます。

3 職員体制

平成29年4月1日予定

単位:人

区分		部長級職名	人数	課長級職名	人数	係長級職名	人数	職名等	人数	計
事務局	市職	局長	1	次長兼会計課長	1	次長補佐兼 会計係長	1	一般事務	2	5
	財団							一般事務	1	1
	計		1		1		1		3	6
美術館	市職			副館長	1	副館長補佐	3			4
	財団							一般事務 売店事務	1 1	2
	計				1		3		2	6
アカデミア 館	市職			館長 (美術館副館長 兼務)						
	財団							一般事務 学芸員	1 1	2
	計								2	2
音楽文化 ホール	市職					館長補佐	1	一般事務	1	2
	財団			館長	1			一般事務 企画制作 企画営業 企画広告 オルガニスト	3 1 1 1 1	8
	計				1		1		8	10
市民芸術 館	市職			事務長	1	係長	1			2
	財団	芸術監督 支配人	1 1			プロデューサー	1	一般事務 企画制作 舞台技術	5 6 7	21
	計		2		1		2		18	23
波田文化 センター	財団			館長 (芸術館支配人 兼務)		係長 (企画制作 事務)	1	一般事務 舞台技術	1 1	3
	計						1		2	3
合計	市職		1		3		6		3	13
	財団		2		1		2		32	37
	計		3		4		8		35	50

第2 各施設の事業計画

1 松本市美術館

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。
 - 《鑑賞の場》 美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会を充実します。
 - 《表現の場》 市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成を支えます。
 - 《学習の場》 生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境をつくれます。
 - 《交流の場》 美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実に努めます。

2 平成29年度の重点的な取組み

平成29年度は開館15周年を迎え、様々な周年事業が実施されます。このため、多くのお客様の満足度の向上を図るため、お客さまの目線に立った接遇に努めるとともに、美術館として快適な環境の提供に努めます。

(1) 平常管理・サービス業務

お客さまに「来てよかった」、「また利用したい」と思ってもらえるよう、ホスピタリティ（思いやり）の向上に努めるとともに適切な施設・設備の維持保全等を図り、お客さまにとって快適な環境の提供に努めます。

ア 受付・監視業務：受付・券売、常設展示室の監視

イ 貸館業務：市民ギャラリー、多目的ホール等の利用申込受付、利用にあたっての支援等

ウ 管理業務：設備保守点検・清掃、警備業務による快適な環境維持等、施設管理

(2) ミュージアムショップ運営業務

常設・企画展示室に続く第3の展示室として、「お客様が夢をお持ち帰りいただく空間」となるようショップ運営に取り組みます。

ア 心地よい空間づくり

イ 展覧会に連動した企画・販売

ウ 人気作家や地域をテーマとした企画・販売

エ シーズンに合わせた企画・販売

3 利用促進対策

- (1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケート等利用者の意見を参考に運営の改善を図り、リピート利用の促進に努めます。
- (2) 子育て家族にも気軽にアートを楽しんでもらうため「子育てパパママの美術鑑賞日」を特別展示に合わせて設定し、託児を行います。（年24回）
- (3) 芸術館自主事業等と連携した事業を開催し、新たな鑑賞者層の拡大に努めます。
- (4) 市でリニューアルしたホームページについて、運用を担う指定管理者の立場から、より効果的な広報に結びつくものとなるよう協力してまいります。

4 市主催事業との連携強化

特別展を中心とした市主催事業に、共催者として広報PRなどの面で積極的な協力を実施します。

《参考》 展覧会等開催予定（市直轄事業）

区分	内 容	会 期	目 標 観覧者数(人)
常設展示	常設展示室A 草間彌生・魂のおきどころ	展示替期間有り	33,130
	常設展示室B・C 館所蔵品を適宜展示公開	通 年	
	池上・百竹亭コレクション		
	細川宗英特設展示		
記念展示	田村一男記念展示室		
	上條信山記念展示室		
企画展示	第7回老いるほど若くなる展	3/4(土)～4/9(日)	(29年度分) 800 (会期全体) 6,000
	堤 清二展	4/21(金)～6/11(日)	12,000
	山本二三展	7/15(土)～9/18(月祝)	30,000
	細川宗英展	10/7(土)～11/26(日)	8,000
	草間彌生展	平成30年 3/3(土)～7/22(日)	(29年度分) 10,000 (会期全体) 60,000
特別展示	市制施行110周年記念 日本浮世絵博物館出張展示	6/6(火)～9/24(日)	—
29年度合計			93,930

2 松本市梓川アカデミア館

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 松本市梓川アカデミア館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示のほか、松本市西部地区の美術の生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

2 平成29年度の重点的な取組み

- (1) 平成29年度から松本市美術館との一体管理となったため、業務にあたっては美術館と連携・協力しながら管理運営を行います。
- (2) 施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ち良くご利用いただくために、相手の立場に立った親切な対応を心がけます。
- (3) 梓川地区及び松本市出身の作家の顕彰や、梓川に育まれた風土や歴史などの地域に根ざした事業を行います。

3 施設の利用促進

- (1) 松本市美術館のギャラリー利用の人气が高まり、会場の予約がしづらくなっているため、梓川アカデミア館のギャラリーを紹介し、利用増につなげていきます。
- (2) 1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規ギャラリー利用者につながるきっかけとなるように働きかけます。
- (3) 近年、学校での利用が多くなっている「昔の暮らし」社会科見学において、地域の高齢者ボランティアと、子どもたちとの世代を超えた交流事業を促進していきます。
- (4) 中学・高校の職場体験やインターンシップを積極的に受け入れ、若者の梓川アカデミア館への関心を深めるよう努めます。
- (5) 多くの来場者・参加者にお越しいただけるよう、各種メディアを通じて積極的に広報活動を行います。

事 業 内 容

区 分	内 容	会 期	目 標 観覧者数(人)
常設展示	①梓川の歴史や文化遺産、昔の生活を紹介（歴史・民俗資料） ②山岳写真とクラシックカメラを展示	通年	2,000
企画展	全日本花いっぱい松本大会開催記念 押し花アート展	6/7(水)～13日(火)	200
	洞澤今朝夫展 松本市出身の彫刻家・洞澤今朝夫の追悼展。梓川アカデミア館に寄贈された50作品の中から展示	7/29(土)～8/13(日)	800
	第17回 信州梓川賞展 梓川流域の風景・文化・行事を描いた絵画等の公募展	平成30年2月～3月	1,800
ワークショップ	押し花体験会	6/7(水)～13日(火)	
	七夕人形作り講座	7/9(日)	定員 30
コンサート	開館記念コンサート 地元演奏家によるコンサート	12月	定員 120
施設利用者目標（ギャラリー利用者も含む）			20,000

3 松本市音楽文化ホール

活動方針

1 基本目標

(1) 施設管理業務

ア 貸館業務

施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ちよくご利用いただくために、相手の立場に立った親切な対応を心がけます。

(ア) 年間利用者総数

施設利用者及び鑑賞者等を含めた利用者数については、直近平常年度過去3カ年平均を上回る人数を目標（ホール設備改修工事期間中の利用者数減を考慮）に、施設の利用促進に努めます。

(イ) 利用料金収入

空調設備改修工事及び舞台照明設備改修工事（平成29年11月～平成30年3月）の実施に伴い、ホールの利用ができなくなることから、利用料金の減収が見込まれますが、利用可能な期間・他の施設への振り替えを勧めるなど、収入の確保に努めます。

目 標	年間利用者総数	100,000人
	利用料金収入	13,910千円

イ 施設維持管理業務

施設及び設備について必要な保守を行い、良好な状態を保つように努めます。

(2) 音楽文化活動普及振興業務

ア 自主事業（公演事業等、目標数値は別記）

(ア) 招聘事業

音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供します。

(イ) 自主企画事業

a 経常自主企画事業

子どもたちが気軽に音楽と接することができるコンサートの他、県内唯一のコンサート用パイプオルガン（以下「オルガン」とする）による幅広い層に楽しんでいただけるコンサートを開催します。

b 特別自主企画事業

松本市にゆかりのある演奏家による共演コンサートを中心に、多彩なジャンルのコンサートを実施します。

(ウ) 共催事業

市民や音楽団体との共催事業を通じて、市民の音楽文化の向上を図ります。

(エ) セミナー事業

a ホール所有のオルガン、チェンバロの講習会等を開催し、特色ある事業を展開します。

b 優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じて、音楽技術の向上を図ります。

イ 音楽文化活動支援事業

(ア) 音楽団体の活動支援

- a 登録団体制度に基づいて使用料を一部減免し、地域における音楽団体の活動を支援します。
- b 音楽団体等の演奏会情報等を広く周知するため、ホール情報誌「ハーモニー」(ハーモニーメイト編集・発行)に掲載します。

(イ) ハーモニーメイトの育成援助

団体の自主性を尊重し、事業に協力するとともに育成・援助をします。

(ウ) 音楽関係相談業務

各種演奏会開催に係る、出演者、コンサート企画等についての相談業務を行います。

2 平成29年度の重点的な取組み

基本目標を踏まえた管理運営を行うとともに、より多くの皆様にご利用・ご参加していただくために、次の2点に取り組みます。

(1) オルガン設置30周年記念事業

オルガン設置30周年を記念し、専属オルガニストによるコンサートの他、客演オルガニストによるコンサート、他団体との共催事業などオルガンコンサートを充実させます。また新たに導入される小型パイプオルガンの活用を進めます。

(2) 子ども向け事業の充実

オルガンとダンスとうたによる音楽物語を上演するなど、次代を担う子どもたちに音楽(活動・鑑賞)への興味を持ってもらえるよう取り組みます。

3 利用促進対策

(1) 施設管理業務に関しては、通常利用の中でご意見をいただくほか、利用者懇談会における音楽愛好団体等の意見を参考に、より利用しやすい施設となるよう常に改善を図り、利用者の増加につなげられるよう努めます。

(2) 自主事業の企画に当たっては、コンサート時に行っているアンケートを参考とし、多くの皆様に来場いただける魅力ある企画となるよう努めます。

(3) 各種メディアを通じて積極的に広報活動をするため、次により対応します。

ア ハーモニーメイトとの連携により、情報誌ハーモニーに記事を掲載して、音楽愛好家等への周知を図ります。

イ 地元紙の広告会へ引続き入会し、定期的な広告及び関連記事の掲載等により、広く地域住民等への周知を図ります。

ウ FMまつもとの番組中に積極的に職員が出演しPRするとともに、従来どおりテレビ松本の「広報まつもと」を活用します。

エ ホール公式ホームページのほか、松本市公式ホームページ、フェイスブック、ツイッターを通じて、さらに広報活動を充実させます。

事業内容

1 公演事業等

区分 番号	事業名称等	開催時期	支出見込 (千円)	収入見込(千円)	
	演奏会内容	参加人員(人)		事業収入	市委託料
1	招聘事業	2,700	23,623	14,900	8,723
1	バッハ・コレギウム・ジャパン「マタイ受難曲」	4月16日(日)			
	バッハのスペシャリストたちが松本に降臨	600	9,799	5,400	4,399
2	ベルリン・コンツェルトハウス室内オーケストラ	9月23日(土)			
	艶やかなイタリア・バロックの情感と、薫る北欧のロマンティシズム	550	3,313	2,200	1,113
3	アンサンブル・ウィーン=ベルリン	10月7日(土)			
	世界最高峰の木管五重奏、人気と実力を兼ね備えた華やかでクールな5人!	550	4,967	3,300	1,667
4	エベヌ弦楽四重奏団	10月14日(土)			
	Classic+Jazz、2つのエベヌ	500	1,714	1,500	214
5	ムノツイル・プラス	11月22日(水)			
	～サーカス～熱狂と爆笑の渦に巻き込む、究極のプラス・エンターテインメント	500	3,830	2,500	1,330

区分 番号	事業名称等	開催時期 参加人員(人)	支出見込 (千円)	収入見込(千円)	
	演奏会内容			事業収入	市委託料
2	自主企画事業	3,830	9,682	5,875	3,807
	(1) 特別自主企画事業	2,130	6,616	5,100	1,516
1	早島万紀子オルガンリサイタル	5月27日(土)			
	日本が世界に誇るオルガニストによる色彩感あふれる演奏	400	899	600	299
2	ウィーンわが夢の街～グスタフ・マーラーアンサンブル	6月4日(日)			
	ウィーンの主要オケメンバーと才能教育出身の大竹貴子による、音楽の都の優雅なひととき	550	2,670	1,650	1,020
3	真夏の夜の“信州ジャズ”	8月12日(土)			
	風景の見える音楽	180	780	450	330
4	I L D E V U (イル・デーヴ)	9月12日(火)			
	5人の太メンが醸し出す重量級の響き	600	1,863	2,400	△ 537
5	ポジティブオルガン お披露目コンサート(仮)	調整中			
	小型パイプオルガンのお披露目	400	404	0	404
	(2) 経常自主企画事業	1,700	3,066	775	2,291
1	栗形亜樹子 チェンバロリサイタル	5月21日(日)			
	バッハができるまで	100	270	200	70
2	こどもオルガン劇場「字のない手紙」	7月9日(日)			
	2014年以來の再演となる、オルガンとダンスとうたによる音楽物語	500	1,492	400	1,092
3	THE 鍵盤フェスタ! 2017～あなたはどのケンバンがお好き	7月30日(日)			
	ホール所有の鍵盤楽器の魅力を分かりやすく紹介する夏休み特別企画	550	843	0	843
4	夜オルガンV o l . 6	10月27日(金)			
	ホールオルガニスト原田靖子がお送りするワンコイン・コンサート	350	261	175	86
5	ポジティブオルガン アウトリーチコンサート	調整中			
	学校・保育園などの施設に出向いて公演	200	200	0	200

区分 番号	事業名称等	開催時期	収入見込 (千円)	
	演奏会内容	参加人員(人)	支出見込 (千円)	事業収入 市委託料
3	共催事業	16,300	0	0
1	第38回 新人演奏会	4月23日(日)		
	音楽関係大学新卒者等による演奏会	300	0	0
2	風薫るコンサート (中信合唱連盟主催)	5月20日(土)		
	日本を代表する5人によるガラコンサート	500	0	0
3	オーケストラ・アンサンブル金沢	7月21日(金)		
	井上道義&エスケシュ パイプオルガンとオーケストラの饗宴	500	0	0
4	第31回 島内とうろう祭り	8月6日(日)		
	地元町会恒例の夏祭り	13,000	0	0
5	OMFふれあいコンサートI・II・III	8月20日(日)、26日(土)、9月1日(金)		
	セイジ・オザワ松本フェスティバル 室内楽公演	2,000	0	0
4	セミナー事業	735	1,902	1,540
1	第16期 チェンバロ講習会 (全5回)	5回		
	講師=栗形亜樹子 (バイエル修了者対象)	75	671	150
2	オルガン講習会	6回×2		
	講師=原田靖子 (一般市民対象)	120	0	120
3	管楽器&指揮法クリニック	調整中		
	講師=洗足学園講師陣 (高校生対象)	200	710	0
4	日本歌曲セミナー	7月23日(日)		
	講師=瀬山詠子 (一般市民対象)	100	420	270
5	弦楽合奏クリニック	調整中		
	講師=古典四重奏団団員 (高校生等対象)	40	101	0
6	オルガンレッスン	通年		
	講師=原田靖子 (オルガン講習会修了者対象)	200	0	1,000
合計	26事業	23,565	35,207	22,315

※オルガン講習会及びオルガンレッスンは、専属オルガニストによるもので、謝礼等の支出を伴わない

4 まつもと市民芸術館

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- (2) 市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場とします。
- (3) 市民が親しみやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場とします。
- (4) これらを通じて、市民が交流する場とします。

2 平成29年度の重点的な取組み

- (1) 串田和美芸術監督の新しい演出による「白い病気」を再上演し、県外公演を行ないます。フライングシアターで劇場の外に飛び出したように、中心市街地だけでなく、劇場設備の整わない場所でも公演できる小ユニットのレパトリーを作るなど、引き続き創造・発信を多角的に推し進めることとします。
- (2) 4回目を迎える「空中キャバレー」はさらにパワーアップし、新たに小ホールでもパフォーマンスを同時上演して、より充実させます。
- (3) 芸術性の高い作品から娯楽性のある作品までバランスよくラインナップするとともに、より楽しむための「学び」の場を開設する等、多くの市民に鑑賞していただけるよう努めます。
- (4) 公式ホームページやメールマガジン、広報誌等従来の方法のほか、ツイッターやフェイスブックといったSNSも積極的に活用し、常に最新の情報をタイムリーにお客様に提供して、幅広い市民の来館を促します。また増えている外国人にも対応できるようHPを多言語化します。
- (5) インフォメーションコーナー・ショップの充実や、シアターパーク・トップガーデンの利活用を進め、館の付加価値を高める活動も充実させます。
- (6) 今まで以上に国をはじめ、さまざまな助成制度を積極的に活用するなど、自主事業財源の確保に努めます。

3 利用促進対策

- (1) アンケート調査等に基づいて、要望を把握し公演ラインナップの参考とします。
- (2) 来館者に好評を得ているインフォメーションコーナーのフリーペーパースペースには、自主事業（公演）に関連する書籍・資料等のほか、芸術文化に関する資料なども展示し、気軽に来館を促す取組みを進めます。
- (3) シアターパークを、ポスター・写真・絵画等の展示や、音楽・ダンスなどを気軽に発表できる場として、更に環境整備を進めることとします。
- (4) チケットクラブ会員を対象とした自主事業（公演）のチケット先行販売などの販売促進対策を進めることとします。
- (5) 中学・高校の職場体験やインターンシップを積極的に受け入れることにより、若者の芸術館への理解度を深めるよう努めます。

事業内容

1 自主事業

(1) 創造・発信型事業

隔年で上演している「空中キャバレー」は4回目を迎えます。串田監督演出・出演の『白い病気』は松本だけでなく県外にも発信します。また、小ユニットのレパトリーは、加藤直さんを演出家に迎えて、「或いは、テネシーワルツ」という作品を作り、公演します。さらに次世代を担う人材育成のために夏に長期の滞在型ワークショップ「シアターキャンプ」を行いません。

(2) 鑑賞・招聘型事業

当館の各舞台空間を十分に活用するジャンルをそろえ、現代演劇、ダンス、音楽コンサート等をバランス良く提供します。恒例となりつつある「羊」のほか、絵本をミュージカル化した「気遣いルーシー」など子供向けの作品を増やし、さらに宝塚歌劇公演、最先端のストリートダンス「東京ゲゲゲイ」など、様々な年齢層の要望に応えるラインナップとします。

(3) 教育普及・育成型事業

ア 様々な作品の理解をより深めるためにレクチャー・プログラムを年間を通して行ないます。
イ 高校演劇は、平成30年度の総文祭に向けた高校の枠を超えた作品づくりに協力するなど、今までから1段階進めたサポート体制を構築します。

ウ 演劇工場（シアターファクトリー）は、加藤直工場長と串田和美芸術監督監修により引き続き第6期生を募集し、新たな受講生とともに学び、演ずる機会を提供します。

エ 広報誌「幕があがる」は、話題、内容、仕上がりについて評価を得ていることから、芸術館のひとつの作品としてさらに充実させていきます。

(4) アウトリーチ事業

まつもと演劇工場の卒業生等による市内保育園等での公演など、市民芸術館による公演を充実し、更に多くの観客動員を目指します。

(5) 観光・地域活性化協働事業

『信州・まつもと大歌舞伎』とともに夏の風物誌として定着した「まつもと街なか大道芸」をさらにパワーアップさせ、夏の賑わいを創出します。

(6) OMF関連事業

セイジ・オザワ松本フェスティバル実行委員会との共催により、「子どものためのオペラ」を開催するとともに、フェスティバル成功に向け、人的・物的な支援・協力を行います。

事業の詳細は次のとおりです。

2 事業概要

事業内容	ジャンル	開催時期	参加人員(人)	支出見込(千円)	収入見込(千円)	
					事業収入	市補助金
(1) 創造・発信型事業			6,240	101,830	65,470	36,360
1 「或いは、テネシーワルツ」	演劇	6月	300	5,980	2,970	3,010
2 ユビュ王ワークショップ	その他	6月	20	500	0	500
3 「空中キャバレー2017」	その他	7月	2,900	45,670	29,300	16,370
4 シアターキャンプ	その他	8月	20	4,410	2,300	2,110
5 「白い病気」	演劇	2月	3,000	45,270	30,900	14,370

事業内容	ジャンル	開催時期	参加人員(人)	支出見込(千円)	収入見込(千円)		
					事業収入	市補助金	
(2) 鑑賞・招聘型事業			20,600	106,110	87,900	18,210	
1	「ディズニーライブ」(共催)	音楽	5月	4,000	0	100	△100
2	「羊」(20周年バージョン)	演劇	5月	200	1,900	1,100	800
3	「ハムレット」	演劇	5月	900	7,810	6,340	1,470
4	雅音人コンサート(共催)	音楽	5月	150	0	10	△10
5	「キスマークイト」(共催)	ミュージカル	7月	1,000	0	100	△100
6	「Hallo」	その他	7月	1,000	3,900	520	3,380
7	「気遣いルーシー」	ミュージカル	8月	150	4,980	3,100	1,880
8	「業音」	演劇	9月	700	6,910	4,450	2,460
9	ペンギンカフェ	音楽	10月	700	4,830	3,850	980
10	「オーランドー」	演劇	10月	900	9,010	7,280	1,730
11	古武道コンサート	音楽	11月	200	2,060	1,200	860
12	宝塚公演(共催)	ミュージカル	11月	1,600	0	200	△200
13	串田和美演出作品	ダンス	11月	2,700	18,710	10,500	8,210
14	ロッキーホラーショー	ミュージカル	12月	3,600	24,760	30,300	△5,540
15	アンチゴース	演劇	1月	1,200	7,690	8,150	△460
16	東京ゲゲゲイ	ダンス	1月	900	5,190	5,050	140
17	R&J	演劇	2月	700	8,360	5,650	2,710
(3) 教育普及・育成・市民参加型事業			12,180	49,100	24,050	25,050	
1	高校演劇講習会	演劇	通年	100	0	210	△210
2	子どものためのオペラ(共催)	オペラ	8月	6,000	6,500	0	6,500
3	松本演劇祭(共催)	演劇	9月	1000	0	50	△50
4	高校演劇中信地区大会	演劇	9月	300	0	0	0
5	市民オペラ	その他	12月	600	15,000	8,000	7,000
6	チャオバンビーニ	その他	11月	2,000	7,450	4,250	3,200
7	まつもと演劇工場	演劇	3月	500	18,340	10,700	7,640
8	こどもたちの映画祭(共催)	その他	3月	1,200	0	50	△50
9	バックステージツアー	その他	3月	180	110	90	20
10	レクチャープログラム	その他	通年	300	1,700	700	1,000
(4) アウトリーチ事業			500	0	0	0	
1	アウトリーチ公演	演劇	通年	500	0	0	0
(5) 観光・地域活性化協働事業			50,000	30,000	3,900	26,100	
1	第6回信州・まつもと大歌舞伎	その他			20,000	0	20,000
2	まつもと街なか大道芸	その他	7月	50,000	10,000	3,900	6,100

事業内容	ジャンル	開催時期	参加人員(人)	支出見込(千円)	収入見込(千円)	
					事業収入	市補助金
(6) 学芸事業			-	21,020	26,740	△5,720
幕があがるなど	その他	通年		21,020	26,740	△5,720
総計(36事業)			89,520	308,060	208,060	100,000

3 貸館事業

目標	利用料金収入	29,790千円
----	--------	----------

- (1) 利用者の興行、催事が成功するよう専門的な立場から支援します。
- (2) 一般利用の開館時間は、午前8時30分から午後10時ですが、利用計画により柔軟に対応します。また、休館日も利用の少ない日に設定するなど利用者の要望に応えます。
- (3) 松本観光コンベンション協会など関連団体と連携し、学会やイベント事業等の利用も推進します。
- (4) 本年度に松本市が実施する市制施行110周年記念事業に足並をそろえ、自主事業は冠付をするなど、館全体で協力していきます。

No	開催時期	名 称	施 設
1	5月	市制施行110周年記念式典	主ホール
2	6月	第57回全日本花いっぱい松本大会	主ホール
3	8月	NHKのど自慢大会	全館
4	10月	(仮称)「第1回食品ロス削減全国大会 ～広がれ30・10inまつもと～」	全館
5	11月	岳都・松本山岳フォーラム2017	主ホールほか

4 協働推進事業

ホールボランティアを芸術館のパートナーと位置付け、来館者サービスの向上を図るため、職員とともに育成事業を実施します。

- (1) 劇場フロントスタッフのための技術習得や接遇等の各種研修、先進施設への視察の実施
- (2) 防災訓練等の共同実施

5 その他

施設見学や職場体験、インターンシップ等を積極的に受け入れします。

5 松本市波田文化センター

活動方針

1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用を図れる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切にし、鑑賞の場だけではなく、アウトリーチ事業などを引き続き積極的に行っていきます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動の援助する一方で、広く利用いただけるように努めます。

2 平成29年度の重点的な取り組み

- (1) 毎年行う利用者および事業アンケートの結果を踏まえて、より多くの方々に気持ち良く利用・参加していただき、次回の来館につながるようサービスの向上に努めます。
- (2) 利用者の少ないギャラリー、ハイビジョンシアターを使用していただくために、使い方などを提案し、利用率のアップにつなげます。
- (3) 本ホールの特徴ともいえる音響設備を生かした鑑賞型事業と、手づくりの地域の人との協働企画の両輪をバランスよく進めていきます。

3 利用促進対策

- (1) 自主事業、貸館事業ともにアンケート調査を行い、常に利用者のニーズに合った運営を心がけます。
- (2) 公演の広報には、コミュニティーFM局やフェイスブックなどの可能なツールを開拓し、公演ごとに効果的な方法で発信できるように努めます。

事業内容

1 自主事業

- (1) 自主事業については、アクトホール（定員：260人）でホールの特性を生かしたプログラムを企画します。
- (2) 松本市の西部地域の文化の拠点として、地域と密着した活動を実施します。
- (3) 地元の団体、保育園、学校等と連絡を密にする中で、公演に伴うワークショップやアウトリーチなどを積極的に行っていきます。
- (4) 継続している事業についても、より参加しやすく楽しんでいただけるように工夫して実施します。

2 事業概要

区分 番号	事業名称等	開催 時期	支出 見込 (千円)	収入見込 (千円)	
	内容	参加 人員 (人)		事業 収入	市委 託料
(1) 鑑賞型事業		664	3,270	1,242	2,028
1	波田少年少女合唱団 アンサンブルコンサート2017	6月			
		224	170	112	58
	2	人形劇団ブーク「ピンクのドラゴン」 (親子対象の大型人形劇)	11月		
225			1,270	270	1,000
3	PA（音響拡声装置）を利用したコンサート ボーカル、バンドなどのコンサート	2～3月			
		215	1,830	860	970
(2) 市民参加型事業		41組	210	58	152
1	第18回ピアノカーニバル (ベーゼンドルファーの市民コンサート)	9月			
		25組	180	50	130
2	来て、観て、弾いてみて、ベーゼンドルファー (ベーゼンドルファーの自由演奏)	2月			
		16組	30	8	22
(3) 事業共通			100	0	100
1	事業共通費	通年			
			100	0	100
合計	5事業		3,580	1,300	2,280

3 貸館事業

目標	利用料金収入	3,080千円
----	--------	---------

- (1) 利用者の立場に立って、充実した催事が行えるよう支援し、今後の継続した利用につなげていきます。
- (2) 利用者アンケートの結果を参考に、利用者の要望に柔軟に対応してまいります。
- (3) 波田文化センターを周知してもらうことに努め、利用促進につながるような工夫をして参ります。

